

授業科目名	スポーツコーチング学特講演習（体操競技）	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	北川 淳一			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	体操競技における器具特性や技の表記、運動特性を踏まえ、各技に応じた指導がどのような状況でも出来るように、コーチングスキルを向上させる。				
成績評価の方法	学期末試験の成績（％） 授業への取り組み状況（50％） レポート等の提出状況（50％） を総合的に評価する。				
成績評価の基準	通常の演習において適切な助言や指導がなされているか。レポートはきちんと書かれているか。この2点を基準として評価する。				
テキスト、教材 参考書	体操競技のコーチング（大修館書店）金子明友著、スポーツ運動学（大修館書店）マイネル著・金子明友訳他				
履修条件・ 関連科目	体操競技に精通していること。	備考(教員メッ セージ含む)	全員が試合などで同じ宿舎に泊まる場合に学外で演習を行う場合がある（年に数回）。		
オフィス・アワー	随時 708教員室 内線4976				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	北川 淳一	コーチング全般の諸注意事項について学ぶ。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
2	〃	運動モルフォロジーについて。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
3	〃	運動経過における局面について。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
4	〃	運動リズムについて。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
5	〃	運動伝導について。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
6	〃	運動の流動について。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
7	〃	運動の弾性について。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
8	〃	運動の先取りについて。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
9	〃	運動の正確さについて。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
10	〃	運動の調和について。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
11	〃	補強運動について。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
12	〃	運動の心的作用について（1）。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
13	〃	運動の心的作用について（2）。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		
14	〃	運動の心的作用について（3）。	小レポート及びディスカッション資料作成（60分）		